



# 鳥取こども学園 学園だより

第53号  
2023年6月1日

〇発行  
社会福祉法人  
鳥取こども学園

鳥取市立川町5丁目417番地  
電話 (0857) 22-4206  
<http://www.tottorikodomogakuenor.jp/>

題字 尾崎悌之助

## 実践によって輝くこども基本法

鳥取こども学園希望館

館長 水野 壮一



「こどもまんなか」をスローガンに掲げてこども家庭庁が設置され、こども基本法（以下、基本法）が施行されました。その基本理念では6項目にわたって子どもの「権利保障」と「意見尊重」と「養育・教育のありよう」が明確に示されています。これは日本が1994年に批准した「子どもの権利条約」をベースにしており、国や社会が子どもに注ぐべきまなざしや支え方が丁寧に練られて表

されていく期待と希望を感じました。（文字数の関係で割愛しますが、興味のある方はこども家庭庁のホームページやパンフレットをご覧ください）  
そしてこれら基本理念には、法人の117年

にわたる実践との共通性や重なりを多さを

見つけることができます。  
私たちは法人に関わる子どもや利用者主体者として（まさに子どもを真ん中において、その尊厳を守ることを使命とし、意見を尊重する話し合いによって、自分も相手も大切にできることを目指し続け、家族や関係者とチームになって、最も良い方向を一緒に追求める実践を紡いできました。

ですから、基本法とその基本理念は素晴らしいものですが、これは「実践によって輝く」とその奥深さを、身をもって知っています。

基本法とその基本理念はすべての子ども・若者を対象としていますが、誰もが心身ともに健やかで自身の将来や夢を描き、筋道を立てて論理的に意見や思いを伝えられることを前提にはできません。

傷つきや生きづらさを抱えた「いと小さくされた人たち」としては、「愛され、保護され、守られます」「意見を聞きます」「社会参加の機会を設けます」という働きかけも、一つ間違えば失礼となり尊厳を傷つけ、困難や悲しみを生むことすらありえることを私は知っています。また、時には子どもや若者に過ちや失敗があったとしても、等しくふれずに信念を持って、この働きかけを貫くことを要します。

素晴らしい理念だからこそ、その実践が浅ければ、大人が美しく飾られた言葉に酔っているだけのぬげがらになりかねないのです。私のつたない実践を通じて思うのは「寄り添い、共に歩む」ことの大切さです。

まずはお互いがこの世に生きて出会い関わり合う者として、そこに穏やかな寄り添いを欠いてはならないと考えます。子どもに限らず人間は、自分のことを認めて尊び、愛してくれる相手と信頼と愛着を築きます。（どれだけの確度であっても）上からの目線でダメ出しや指摘をする人とは仲良くなれませんよね。寄り添い無きところに実践は成立しません。

そのうえで子どもと共に歩みます。実践者としての私の理想は、寛容でほげらかに未来へ希望を抱くロマンチストである一方で、知識やスキルが豊富であると共につきぱりとした正直さを持つリアリストでもある。この両面によって子ども達とパートナーシップを結び、共に歩みたい。そこには大人も子どもも、上も下も無いと考えます。

実践は法や制度の下では「支援」や「業務」と書き換え可能となりますが、その本質は実践者の生き様や法人のありように現れると考えます。さがげと歴史に学び、共に使命を果たす法人職員と仲間を誇り、何よりも関わる子ども達やこれまで学園を巣立った方々への尊敬と感謝が大切だと思えます。これを読んでくださっているみなさまには、法人がたゆまぬ歩みを進められるよう励ましていただければ、心からうれしく思います。

最後に。私は夢想家の気があり、実践の先に世界が変わることを想像します。子ども達が「殺し合いをやめて」と叫び訴えたならば、政治家や兵士が武器を下ろし戦争や紛争を終えるような世界を…不可能でしょうか？

児童養護施設

## 鳥取いごも学園

## 養育里親さんの活躍

里親支援専門相談員

宮橋 佐和子

「次はいつ行ける？」と私を見つけて聞いてくる子は家庭生活体験事業を利用しています。鳥取県が行っている事業で、他県でいっしょの週末里親や季節里親に近いものです。乳児院や児童養護施設等に入所中の児童が、月1回程度里親家庭に行き交流します。

里親さんから「月一回でいいんですか。」と言われることがあります。子どもたちにとって地域にいる自分だけの応援団の存在はとても心強く、月一回の交流が積み重なればなおさらです。始めはホーム職員の影に隠れて恥ずかしそうにしていた子が、数ヶ月後にはひとりでお泊りに行き「また行きたい」というようになると、私まで嬉しくなります。そして、最近は家庭生活体験事業だけ

でなく、一時保護や市町村の子育て短期支援事業でも多くの里親さんが活躍され様々なかたちでの受入れが増えてきている印象です。私たち里親はそんな里親さんの応援団で、施設と里親さんを繋ぐ架け橋でありたいと思っています。

## 日々感じていること

子どもの家 いごも学園

保育士 竹本 祐香

新年度になり満開の桜に見守られながらいるどりの子どもたちは入園、入学、進級を迎えました。

私は学園に勤めてから早いもので4年目になります。最初の頃は毎日が新しいことや想像してないことが起こったりの連続で、とにかく子ども達を次の日の朝学校に送り出すまで必死の日々でした。年数を重ね少しずつですが余裕が出来るようになり、子どもたちの成長を近くで見守れることをとても嬉しく思います。昨年は以前勤めていたホームから子どもと一緒にいるどりへ異動してきたのですが、私以上に子どもの方が不安が大きい中「一

緒に頑張ろう」と声をかけてくれたことは今でもよく覚えています。その時は本当に子どもの強さを感じ日々子どもに助けられ自分自身も成長させてもらっているなと感じました。新しい環境の中での生活に不安もありましたがいつも寄り添ってくたさるホーム職員、同僚など周りの方のおかげで毎日頑張ることができています。

今年度いっしょのどりで2年目を迎えました。これからも子どもたちと楽しく過ごして、たくさんのことを学びながら自分自身も成長していきたいです。

## 一致団結

つくしホーム

児童指導員 小倉 沙織

つくしホームは男の子6人、みんなパワフルで明るくいつも賑やかです。目の前に並ぶ桜の木も、たくさんのパワーを貰ったのか3月末には満開となり、いち早く春の訪れを感じさせてくれました。そんな桜の木まで影響を及ぼす程、元氣いっぱいな子どもたちとの最近のエピソードを紹介します。

つくしホームの玄関は、どついたらこんなことになったと思つほど靴が乱れ、玄関の扉を開けると思わず靴につまみつきになってしまう状態でした(私は実際に転びました)。実際に、長い間定着してしまつた習慣を変える事は容易ではありません。この小さいよつで大きな課題、いずれ誰かが(私が)大げがをしてしまつ前に終止符を打つべく、悩みぬいた末に子どもたちが楽しみながら靴を片付けられる方法を試みようとした。ただ、この一大ミッションは、大人だけの力では到底解決に至りません。そのためには年長者である高校生に協力を仰ぎました。そして私は綺麗な玄関がいかに素晴らしいことであるかを、その子に熱意を持ってプレゼンしました。すると、その子も私の熱意に伝えてくれ、強力な賛同者となってくれたのです。そこから子どもと職員みんなでルールを考え、『靴を下駄箱に片づけよう月間』を実施することになりました。楽しみを忘れないうつ、ミッションを達成したら盛大なおやつパーティーをする目標もみんなで決めました。実際にスタートしてみると、最初は思っていた通りには行かず、つつかり

靴を片付け忘れることもありましたが、徐々に大人が声をかける前には「っ」と気づいたり、子ども同士で声を掛け合う姿、自分の靴ではなくても片付けてあげたりと子ども同士で協力し合う姿が見られるようになりました。片づけ

る私にとって嬉しい出来事でした。

ができた日はホワイトボードに花丸を貼っていき見事、一か月間で花丸の数が目標に達し、みんなでパーティーをすることができましたー達成感を感じたパーティーは最高でホームの一致団結を感じました。ただ、そこで一つの不安が頭をよぎりました…。目標達成がゴールになり、また地獄のような玄関に戻ってしまうかもしれない…。しかし、そんな不安は見事に一蹴され、次の日から全員片づけが習慣化されたのです。一人ひとりの意識は現在も変わらず、毎回片づけている姿に本当に些細な事ですが感動させられ続けています。子どもたちと気持ち共有できたからこそ、習慣化に繋がったのだと思っています。問題提起をしてから現在に至るまで、子どもたちの発想力や行動力に驚かされ、子どもたちの持つ力を信じて、子どもたちのやる気スイッチを色んな形で見つけていきたい、そう思わせてくれ

私はこれから産休に入ります。一年後この大好きで大切な場所に、子どもたちと私たちが共に成長した証である綺麗な玄関から「ただいまー」と元気いっばいに帰ってきたいです。

新任職員のご紹介



調理員  
大野木 洸

未経験からの転職なので不安もありましたが、みなさんとコミュニケーションを取りながら仕事を覚えていきたいです。子どもたちが安心して食べられる食事を作れるよう精一杯頑張ります。よろしくお願ひします。

未経験からの転職なので不安もありましたが、みなさんとコミュニケーションを取りながら仕事を覚えていきたいです。子どもたちが安心して食べられる食事を作れるよう精一杯頑張ります。よろしくお願ひします。

◆ふじホーム



保育士  
西村 彩乃

初めてのことで不安もありますが、子どもたちと生活する中で共に成長してい

きたいと思っています。一生懸命頑張りますので宜しくお願い致します。

◆ひまわりホーム



保育士  
長谷川 和

今年度よりひまわりホームでお世話になっていきます。日々、子ども達の姿に癒され、元気をもらっています。慣れない事ばかりですが、子どもたちと一緒に成長できるよう精一杯頑張ります。よろしくお願ひします。

◆かつらぎの家



保育士  
安本 香織

今年度よりお世話になります。初めての環境で慣れないこともありましたが、子ども達が安心して過ごせるような関わりをしていきたいです。そして、日々勉強し続け成長していきたいと思ひます。精一杯頑張りますのでよろしくお願ひします。

児童心理治療施設  
鳥取子ども学園希望館

理解し合う、認め合う、支え合う、そして共に創る

主任 山名 康之

新型コロナウイルスが世界的大流行してから4度目の春を迎えました。この3年間は生活の中で様々な制限がかかり、子どもも大人も窮屈な生活を強いられました。先の見えない不安やストレスの中で、今できる楽しみを見出そうとする子どもたちや職員の姿に、順応力の高さを感ずることができました。

さて、希望館では今年度入所部門と通所部門に多職種の新たな仲間を迎えスタートを切っています。入所部門では、昨年度から1ホーム4人体制(さつきホームを除く)とし、子どもたちに寄り添っています。先述した通り、コロナ禍前より様々なことができない状態が続く中、昨年度は希望館キャンプの実施を計画しました。希望館全体でキャンプに向

かつて準備を進めましたが、コロナ禍の影響や悪天候で当日泣く泣く中止の判断となりました。しかし、希望館はタダでは終わりません。『キャンプが中止なら別のことをすればいい』と急遽キャンプから大運動会へ変更し、翌日(キャンプの場合2日目)の開催に向けて大急ぎで準備をしました。皆の努力が功を奏し、無事に大運動会を開催することができました。急な予定変更にも関わらず他部署にも協力をいただき、子どもたちの頑張る姿や笑顔を見ることができました。子どもたちにとって、子ども時代の思い出のページになったらいいなあと考えています。今年度は新型コロナウイルスの感染法上の分類が5類に引き下がり、各種イベントや行事がコロナ禍以前の様式に戻ることが期待されます。今年度こそ、4年ぶりに希望館キャンプが実施できたらいいなあ、ストレスの少ない生活で子どもたちと共に笑って過ごせたらいいなあと切に願っています。

目標に向かって戦っていく。希望館の子どもそれぞれが違つ目標を持って一生懸命戦っています。WBCをテレビで見ている子(特に男の子が多く、女の子は見ていたのだろうか?)は侍ジャパンの戦つ姿に何を感じたのだろう。成長へのモチベーションに繋がったらいいなと思いました。職員は子どもたちにとって監督でもなければコーチでもなく、同じチームメンバーとしてお互いを高め合える存在でありたいと思います。時には衝突し、時には笑い合ひ、時には一緒に涙を流す、お互いを認めて支え合える希望館を子どもたちと共に創り上げていきます。



セラピスト  
鴨木 恭子

### 新任職員の自己紹介

年にしたいです。どうぞ、よろしくお願ひします。

4月から皆さんと一緒に働かせて頂くことになりました。初めてのことはかりでも右も左も分からず、皆さんにご迷惑をお掛けしてばかりだとは思いますが、社会人として、またセラピストとして成長できるよう精進していきたく思います。宜しくお願ひ致します。



セラピスト  
西村 ゆき



保育士  
石坂 桃子

◆わかばホーム  
初めての環境で慣れないことが多くありますが、自分にできることをしっかりとやって、皆さんと笑顔で楽しく過ごしていきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

◆さつきホーム  
分らないことだらけで、迷惑をお掛けしたり失敗したりと至らない点が多いと思ひますが、精一杯頑張っていきたいと思ひます。

5月1日よりお世話になります。これまでの経験を活かしつつ、ごどもたちの食事の一手を手助けできるよう頑張ります。



児童指導員  
中原 拓太



保育士  
片山 凜華



栄養士  
高良 果菜未

今年WBCが開催され、侍ジャパンが見事14年ぶりに優勝を勝ち取りました。野球という競技を通し、それぞれが違う経歴を辿った選手が集まり、優勝という

のことを学んで精一杯頑張ります。これ  
からよろしくお願いします。

乳 児 院  
**鳥取子ども学園乳児部**

つ な ぐ

くるみホーム  
保育士 森 川 怜 美

里親さんと子どもが出会う場面は、何  
度経験しても慣れない緊張感が走ります。  
和やかなムードで里親さんと子どもとの  
出会いを…と考えますが、思つたようには  
いきません。子どもの「人見知り」は、  
自然な姿であり、担当としては安心する  
のですが、里親さんの心が折れてしまわ  
ないかとドキドキしてしまいます。でも  
結局、子どもの言動でみんなが笑顔にな  
り、ホッとします。そんな事を繰り返して  
いきます。時には、機嫌斜めで職員に  
べったり甘えん坊な日、私が驚くほど職  
員のもとを離れて過ごす日など、子ども  
はいろんな姿を見せてくれます。人見知

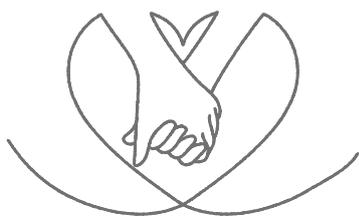
りをしてきた子どもも、生活の中で里親  
さんの名前が出てきたり、変化に追いつ  
こうとしているのか夜泣きが増えたり、  
その全部を里親さんと共有し話し合いな  
がら数か月をかけて交流を深めています。  
ある日のこと「今日誰と遊んだ？」と  
話しかけると「……………」。「子どもは黙り  
込んで黙々と遊んでいましたが、布団で  
コロコロとくっつくのを急ぐ」「〇〇と遊  
んだ」「〇〇また来る？」と、ボソボン  
と話し始めました。「また会いに来るよ。  
遊ぼうな」と伝えるとくっつきと鎖き寝て  
いきました。  
里親さんに私たちが知らない里親宅で  
の様子を聞いた時のこと。「じつでした  
か？」の質問に「くっつきエピソードを話  
され、かわいいんです」と言われました。  
その表情や語るエピソードからも、子ど  
もへの思いが伝わってくるようでした。  
互いに少しずつ、子どもと里親さんの存  
在が大きくなっていくのだと感じました。  
私が初めて担当した子どもも、里親さ  
んに家族として迎えられるました。その当  
時私は、周りが見えず、里親さん宅での  
生活がスタートする時には「完璧な関係  
が出来上がっている」と望み、理想だけ

が空回りしていたように思います。私  
子どもの関係がそうであるように、里親  
さんと子どもの関係も新しい生活の中で  
積み重なっていくものであると、いつか  
に気づかれました。そして、完璧な関  
係はなく様々な形があつてよいというこ  
と、何か問題にぶつかってもみんなで一  
緒に考えて、こちらが手伝えることがあ  
れば手伝えればよいと考えるようになり  
ました。  
これからも子どもの育ちを繋ぐ場面に  
立ち会うことが多くあります。みんなで  
どうすれば一番良い形になるかを一緒に  
考えて、子ども、里親さん、保護者さん  
とを繋ぐ役目となつていきたいと思つて  
います。

架 け 橋 ～ 子 童 も の 成 長 ～

かりんホーム  
保育士 奥 田 知 行

春は出会いと別れの季節でもあります。  
A君とは2年間、乳児部で生活を共にし、  
桜の咲く頃に、児童養護施設に送り出  
しました。同じ法人の児童養護施設(鳥取  
子ども学園)は、乳児部からすぐそこに  
あります。とは言つても、新しい生活の  
場所に移るといふことは、大人でもドキ  
ドキ、ソワソワするような大変なこと  
です。それが子どもとなれば、不安は底知  
れないものだと思います。  
A君は天真爛漫で活発な元気な男の子。  
遊ぶ時も泣く時もいつも全力！まさに全  
力少年です。そんなA君がホームに来た  
時は、男同士、何だか仲間ができたよう  
な感じで嬉しい出会いでした。A君との  
日常は、時には驚かされ、時には笑わせ  
られ、時には悩まされ、ここでは語りきれ  
ないほどの数々のエピソードがあります。  
乳児院では、子どもが概ね3歳になる  
頃には、今後の生活について考えていく  
こととなります。家族再統合、児童養護



学 園 だ よ り

施設への措置変更、里親委託等、様々な選択があります。A君の場合も保護者と児童相談所、施設が何度も話し合った結果、児童養護施設への措置変更が決まりました。職員には不安もありましたが、A君はその不安をいい意味で裏切ってくれ、順調に新しいホームとの交流を重ねることが出来ました。「いつてきませぬー」と交流に出かける姿は、なんだかちょっとお兄さんらしく逞しくも見えました。いよいよ、新しいホームへの引っ越しの日が近づいてくると、A君にそのことを伝える時が来ます。A君と二人になり、お引越しの伝えると、少し考えたような感じの表情を見せました。A君なりに理解したようで、「A君はどこにも行きたくなさ、こいびがらう、〇〇ちゃんと一緒にがいら、交流が始まって以来、初めて不安な様子を見せた瞬間でした。A君の言葉に、何とも言えない心苦しさが込み上げてきます。A君にとって、ここが家であり、一緒に過ごす子どもたちと職員は、家族のような存在であり、愛着が育まれていることも実感しました。

そして、お引越し当日を迎えました。当日は、少し落ち着きがなく不安な様子も見られましたが、乳児部を出て行く際は、いつも通りのA君。笑顔も見られ「いつてきませぬー」と新しい一歩を踏み出しました。お引越し後も、出会ったときには近寄ってきて声を掛けてくれ、一段と成長した様子を見せてくれます。子どもの不安を乗り越えていく力、成長はすごいですね。

乳児部では、概ね3年程しか、子どもと一緒に生活していくことはできません。しかし、巣立ったから終わりではなく、巣立つてからも見守り、これからも関係がっていきたく思います。

新任職員の自己紹介

◆へるみホーム



保育士 石谷 優奈

今年度よりお世話になります。まだ慣れない環境で不安ですが、子どもたちや職員の方々とお話の中で、たくさんのお話を学び身につけていきたいです。一生懸命頑張りますので、よろしくお願ひします。

この度、就業することになりました。乳幼児のサポートは未経験ですが、先輩方にご指導して頂き、在籍している子どもたちと1日でも早く信頼関係が築けていけるよう懸命に頑張りたいと思います。宜しくお願いいたします。

◆かりんホーム



看護師 伴 雄二

認定こども園 鳥取みどり園

こどもをまんなか



園長 西垣 恭子

園前が桜色に染まり、昨年の年中児が植えたチューリップの球根が色とりどりの花を咲かせる嬉しい春に、新入園の多くのお子様を迎え、令和5年度が元気にスタートしました。

リスト教保育を行う本園の生活の場で、子ども一人一人が、それぞれの持ち味や個性を發揮しながら、互いの良さを認め、共に育ちあつことのできる温かで力強い園となれるよう、日々の教育・保育をていねいに進めていきたいと思ひます。

さて、認定こども園は、園児が安心して生活でき、のびのびと大きくなつていける園であることが求められています。このような中、本園では、保育室の先生、給食室の先生、保健室の先生が「こどもをまんなか」にして手をつなぎ「こどもの健やかな成長を応援しています。保育教諭は、遊びを大事にした様々な体験を通して、生涯にわたって必要な基礎づくりを行い、給食室の先生は白慢の美味しい給食で子どもを笑顔にし、生きるに繋がる食べる力を子どもたちに育んでいます。また、乳児が多い本園にとって看護師の先生が居てくれることは本当に心強いです。看護師ならではの専門の知識をフルに發揮し、子どもたちの看護はもちろん、看護師の先生が園に居てくれることの安心感を私たち職員に提供してくれています。

また、学園の敷地の中央に位置する本

園は、園児の支援に難しさを感じた時には、学園の心理士の先生による専門家の知見をいただくこともできますし、園の看護師が不在の時に怪我が発生すれば、すぐに学園の保健師さんや看護師さんが応援に駆けつけてくださいます。これ以外にも学園の職員さんに助けていただくことも多く、先日、園の火災報知器の不具合でベルが鳴り、大きな音が学園中に響き渡った時には、学園の多くの職員さんが消火器を手に、すっ飛んできてくださいました。

このように、ごちをまんやかに多くの人々と繋がり、多くの恩恵を受けながら、子どもたちが安心して大きくなっていく環境にあることに感謝する日々です。

園は今春より、「ごちをまんやかな社会」の実現に向けて、「ごちを基本法」をスタートさせました。

園生活の主役は子どもです。私たち大人の都合に子どもを合わせるのではなく、子どもにとってどうなのだろうかを常に問い、子どもとして生きている園児の毎日が豊かで充実したものとなるよう、それぞれの立場で応援していきたいと思えます。

新任職員のご自己紹介



看護師  
木 下 来 海

昨年12月から看護師としてお世話になっていきます。

まだまだ未熟ではありますが、自分に子どもたちが元気に過ごせるようサポートしていきたいと思えます。

よろしくお願ひします。



調理員  
伊 集 院 圭 子

今年度4月からみどり園で調理の仕事させていただくこととなりました。

子どもたちが美味しいと言ってもらえるよう、そして給食の時間が楽しみになるような食事を提供できるよう努めていきたいと思ひます。

よろしくお願ひします。

自立援助ホーム  
鳥取フレンド  
鳥取スマイル  
はればれ



統括寮長  
田 村 崇

笑顔の力

～ The Power of Smiling ～

皆様こんにちは。自立援助ホーム部門（鳥取フレンド、鳥取スマイル、はればれ）統括寮長の田村崇です。2023年度（令和5年度）、鳥取フレンドは4名、鳥取スマイルは5名、はればれは3名の若者が、それぞれの目標に向かい、新年度をスタートしました。一部職員の異動もありましたが、自立援助ホーム部門としては、昨年と同じメンバーでスタートを切りました。職員一同、1日1日を大切にしながら若者と一緒に生活していきたいと思ひます。

せそう考えるようになったのか、少し思い起こしてみました。小学校1、2年生のわたしの担任は、厳しさの中に優しさを感じたりと持ち合わされていた女性の先生でした。入学当初、左利きだったわたしに対し、書くこと（鉛筆）と食べること（箸）を右手に変えてくださったこと（賛否はあると思いますが）先生です。そのころからずっと年賀状のやり取りがあり、毎年、笑顔を決やさず、とメッセージをくださっていました。最初の頃は、定型文句くらいにしか思っていました。時が経ち大学院の修士論文を書くために小学生へのインタビュー調査が必要だったわたしは、校長先生になられていたその先生に連絡を取り、インタビューすることに許可をいただきました。十数年ぶりの再会でした。その時交わした会話の中で、  
「あなたの笑顔は今でもちゃんと覚えている。ほんとに素敵な笑顔だったよ。」  
そう言っていたいただきました。とても温かい気持ちになったのを覚えています。  
前置きが長くなりましたが、このころから、笑顔、について意識するようになりました。物の本などには、免疫力を高

めたり自律神経を整えたりなど、ポジティブな作用が語られています。確かにそれらもそのなのですが、わたしが一番強く思うのは、自分の笑顔が相手の笑顔、相手の笑顔がわたしの笑顔を作る！です。しかめ面をした相手に話をするよりも、穏やかで笑顔な相手に話をするほうが断然良いです。逆も然りだと思います。

人生、日々辛いこともたくさんあります。生きていくということは、楽なことばかりではないでしょう。でも、活き活きと楽しく生きていきます。そんな気持ちに「笑顔」が応えてくれるはずです。今一緒に生きている方々、そしてこれから出会う誰かに対し、「笑顔」を前面に出していきたく思います。それが自分を大切に！相手も大切に！へ繋がることを信じながら…

日頃より、自立援助ホームで生きる若者やスタッフに対し、温かいまなざしを持って支えてくださり本当にありがとうございます。これからも日々若者と一緒に成長していきたいと思しますので、今後とも温かく見守ってくださいます。よろしくお願ひいたします。

### 児童家庭支援センター 子ども家庭支援センター 「希望館」

#### 新年度を迎えて



所長  
山中 八寿子

新年度を迎え新たな気持ちになり、気が引き締まる思っています。

令和5年度、子ども家庭支援センター「希望館」は新たな副所長を迎え、また、当センターの所在する希望館教育棟はメンバーが増え、見える世界が新鮮です。

子ども家庭支援センター「希望館」は今までと変わらぬ「子どもとその家庭のあらゆる相談を受け、専門的な相談支援を行うております。」「ここ2～3年は年間2,700件～3,200件の相談を受けており、子育てに関する相談も多いですが、登校に関する相談や性格行動に関する相談も子どもさんやその家庭から継続的に受けております。このように、

子どもさんやその家庭からの相談を受けておりますが、その中で毎年変わらず大切にしていることは、子どもさんの主体性を大事にしながら、親御さんの子育てを応援しているところです。

また、「ひろびろ」と称して遊びを中心としたグループ療法も行っており、子どもさんたちが楽しみにしてくれています。しかし、コロナ禍ということもあり、月1回実施することが難しい状況でしたが、令和5年度は定期的に実施したいと考えております。

今年度も新副所長と共にお待ちしておりますので、気軽に相談してください。

#### 【副所長より】

今年度から支援センターの副所長をさせていただくことになりました、野田諭です。地域の子育て支援に丁寧に関わっていきたく思っています。よろしくお願ひします。

※家族・子育てについての悩みや、子どもに関するあらゆる相談に応じています。相談は無料です。

#### ○電話相談

月曜日～金曜日

朝8時30分～夜12時

(緊急の場合は、休日、祝日、時間外も24時間対応)

#### ○来所相談

開所時間 月曜日～金曜日

朝8時30分～夕方5時30分

専門の相談員が対応します。



カウンセリング室

就労継続支援B型作業所

## はまむら作業所

### ただいまバランス調整中

管理者 山岡 宏樹

4月、外には桜の花や草木が元気な様子を見せ始めており、私達の事業所周辺にも春の香りがしている今日この頃です。先月よりコロナ感染症との付き合い方も世間的には変わり始めており、私達の事業所においても、適度な予防をしながらいつもの日常生活、活動を再度模索している最中です。あまりに長い期間の生活規制等は、私達の普段の様子や考え方を変えてしまい、「あれ、こんなだったけ」の連続。花見って行っていいんだっけ？いつマスクとるんだっけ？今、こんなんで喋って良かったっけ？結構な場面で意外と困るものです。

最近、事業所を利用する皆さんと、これからの事をいろいろ話したり聞いたりします。たとえば、週末に友人と食事会や買い物にきたい、近々ある地域のお祭りや好きな歌手のライブが気になる、

県外の親戚と逢いたい、病院に知人を訪ね面会をしたい、就職活動で会社見学がしたい、もう少し大きな声で喋る場所が欲しいなど多種多様。以前は当たり前だった事が、「ダメ」となった期間が長過ぎ、それへの適応が気付く、「ふっっ」の感覚」をわからなくさせ、自分の外へ発信する事もしなくなっていたのだろうと思います。感染症予防に費やし過ぎた期間は戻りませんが、私達は、普段の働く事作業する事から少し離れ、この「〇〇したい」の話を聴いたり相談にのったり、時には一緒に活動を再開できたらいいなと思います。また、マスクなどで見えなかった見落としていた表情の変化ももう一度気付いたら、日常の関わりも充実していくのかなと思います。皆さん、もう十分我慢する生活をされてきたし、自己管理に費やす時間を持ったので、それぞれの日常を取り戻すのにかかる時間が本当に大事だと感じています。

その中で、個々のちよつどいいバランスが異なると思っていますので、ぼちぼち調整していけたらと感じています。

今後とはまむら作業所を、温かく見守っていただきありがとうございます。

就労移行支援事業所  
就労定着支援事業所

## エミライズ

### For The Next Step

～次の一歩へ～

管理者 松本 忠

令和3年8月、米子市にエミライズが開所して、間もなく2年が経ちます。令和5年5月からは就労定着支援事業も始まり、就労後の支援も継続的に行える体制が整いました。

支援内容を充実させるために様々な新メニューの開発に取り組んでおり、その1つが昨年度開催した「ゆる読書会」。名前の通りリラックスしながら好きな本を話題に利用者の方向士のコミュニケーション力向上を目指す目的で開催しております。今ではこちらが驚くほど活発に意見交換が行われるセミナーになっています。

日々、次のスタートに向けて一歩を踏み出そうとされている方を受け入れる態

勢で事業所の運営を行っておりますが、思うようにいかないことが多い、まだ道半ば。行く先を見ると暗中模索の状態です。

ただ焦点を目の前に置くと、支援内容に満足されて就業に結びつき、現在も職先で一生涯懸命に働いている利用者の方やエミライズにご相談いただける関係機関、勇気を振り絞って相談の電話をかけて下さる方やそのご家族などの存在があることに気付く、我々の足元を照らしてくれているように感じます。

今後、地域の皆さまの様々なご要望にお答えできるよう、職員一同が「最大の努力をする〜諦めない心〜」というスローガンのもとで自己研鑽に努めながら、明るくプラス思考で前に進んでいきたいと考えています。



米子城跡から見下ろす  
春の米子市街地

診療所

## 人間の発達クリニック

## 法人理念としての「復活」

― イースターの日に思う ―

診療所院長 川口 孝 一

春分の日の後の最初の満月の日の翌日曜日である「イースター」の日にこの原稿を書いています（いつもの様に締め切り間際に）。イースターとは、イエス・キリストが生まれてきたことを祝う「降誕祭」（クリスマス）に並ぶキリスト教の最も重要な行事の一つで、イエス・キリストが弟子であるユダの裏切りで逆逆者として十字架にかけられ処刑された日から3日目に復活したことを祝う「復活祭」です。子どもたちにとっても、綺麗に装飾された如でた鶏の卵（イースターエッグ）がもらえるワクワクする日かもしれないですね。いつもの様に話が逸れませんが、因みに私は卵焼き好きで、食事は卵焼きに白米と味噌汁（具は、硬めの木綿豆腐、油揚げ、ネギ、あれば茄子等の野菜）があれば満足です（魚肉ソーセー

ジがあれば大喜び）。それは置いて、話を戻します。

私たちの施設では、「キリスト教の教えに基づく法人の理念」と言う言葉をよく耳にするのですが、具体的にはどんな理念なのでしょう。キリスト教の信者でも研究者でもない、それどころか欧米でバスターセラーである聖書を一度も全部通して読んだこともない（カタカナを覚えるのが苦手で、旧約聖書のページ目から挫折です）私が言っても説得力はないのですが、その理念を聖書の中に探すと、その一つは先に述べた「イエス・キリストの復活」（他に「放蕩息子のたとえ話」の中にもあるように思いますが、それについてはまたの機会に）の中にあるように私には想います。私たち鳥取子ども学園の職員は、子どもと共に在り、子どもに向き合うことが仕事ですが、エネルギーが枯渇し、時につぶれそうになったり、本当につぶれてしまったりすることもあります。しかし生き残り、生き返り、また子どもたちの前に現れ、共に在り、子どもたちに（いい意味で）利用され続ける存在として在り続けなければなりません。一見割が合わない仕事のよう

ですが、それを請け負うのが私たちの仕事で、それを請け負う人間がいても良いのではないかと思えます。大変ですが、密かに誇れるやりがいのある仕事（使命）です。子どもたちと共に在ること、子どもたちから逆にたくさん教えるや生きるエネルギーももらえます。だから復活できるのかもしれない。

この春も残念ながら何人かの職員と別れがありました。もっと一緒に仕事をしたいかった、もっといろいろと語り合いたかった、そう思える方ばかりでした。その方々にも様々な事情があり、やむを得ないことなのですが、残念です。寂しいです。でも離れてももつ法人の仲間です。「イエス・キリストの復活」を通して託された法人理念に基づき、きこつて戻つて来て下さると思っています（願わくば私の居るうちに）。藤野理事長も、常々「辞めてもいい、でもいつでもまた帰って来ればいい」と言っています。私たちの仕事は、リサイクル・マザー、リサイクル・ファザーなのですから。



白狼くんと

## 鳥取養育研究所

## 芹沢俊介さんを偲ぶ

事務局長  
(鳥取子ども学園 園長)  
藤野 謙 一

2023年3月22日、評論家の芹沢俊介さんが天に召されました。僕が会社を辞めて鳥取子ども学園に転職する直前の1998年10月に、養育に携わる関係者（児童養護施設、自立援助ホーム、児童自立支援施設、建築家、他）10数人が横浜に集まり、芹沢さんの養育論と実践について語り合ったことを今でも鮮明に覚えています。会のあとで飲み会があったのですが、芹沢さんは「僕はお酒が苦手ですね。でも、こうして実践している人たちと一緒に酒の席でいろんな話をするのが好きなんだ」と言っておられ、養育関係者が熱く議論を闘わせているときもニコニコ笑って静かに聞いていました。僕が「これは何の会ですか?」と聞いたら、「何の会」だよ」とのこと。何

の会」は、その後「養育を語る会」として、芹沢さんが天に召される直前まで継続しています。

芹沢さんは学園によく来て、養育論を職員に話してくれました。今では、「受けとめ手」「受けとめられ体験」等の言葉が学園職員の会話の中に浸透しています。学園の養育を言葉で表現するとき、芹沢さんの養育論が中心になっています。鳥取子ども学園希望館の事業計画の職員の共通確認事項の最初には、「養育』とは、『受けとめられ欲求』→『受けとめ手』→『受けとめられ体験』である。職員が『受けとめ手』となるには、特定の職員がその子どもに自分を差し出しつつ、その子どもの傍りにその子どものために居続けることによって実現可能となる。(芹沢俊介)」が掲載されており、ここは毎年不変です。芹沢さんにも、これが良いかと確認しています。僕も芹沢さんが発展させてきた芹沢養育論をずっと追いかけてきた一人です。これから芹沢さんと現実世界で一緒に語ることができないのは寂しいですが、芹沢さんが残された多くの文章と対話しながら仲間と発展させ

ていきたいと思っています。

芹沢さんは天に召される直前まで、養育を語る会で宮沢賢治の「銀河鉄道の夜」を読み解いていました。その議事録がいつも学園に届いて読んでいたのですが、芹沢さんはよくわからない箇所でも『難しいところなんだ』ということや、ギリギリまで考えていくのが僕らの作業「適当なところで、切り上げてはダメだ」と「思考を捨てる」「放棄する」ことをしません。今は、実際に銀河鉄道の夜の列車に乗って、その世界を思考しているのだらうと思います。また、天国で会ったときに教えてくださいね。



### 笑顔の責任

所長 遠藤 信彦

昨年度末、鳥取短期大学の菅田理一准教授を講師に迎え、児童養護の歴史研究についてご講義いただきました。お話しいただいたエピソードのひとつひとつに奥

深い教えがありました。

戦前の日本は、家族や親戚、隣近所の結びつきが強く、また子どもの数も多かったため、共同して子育てを行っていたそうです。困ったことがあればみんなで解決し、互いの家族を見守っていました。しかし現代の日本はそういった血縁や地縁がとても弱くなっているため、助けあい見守りあつ子育ての「コミュニティ」は人工的に作る必要があるのだそうです。鳥取県における里親と支援者のネットワークもこのことの一環と言えます。

ネットワークの柱である「鳥取県里親会」を、戦後間もない昭和の25年に結成したひとり、升本栄久さんの話がありました。升本さんは戦地から鳥取に戻ったあと、これからは人を殺すのではなく生かす取り組みをしたいという一念で、創設されたばかりの里親制度に登録し、里子養育と助けあいの組織づくりに尽力されました。菅田先生の調査によれば、升本さんのように戦争への後悔をもった方が児童養護の取り組みと出会い、復興のかなめとなる子どもたちのために貢献したということが多くあったそうです。

升本さんをはじめ児童養護の実践者が

書き残した備忘録や手記には、「あれはまずかった」「悔やまれてしょうがない」といった反省のことがよくつづられているそうです。児童養護にたずさわる者は先人にならない、謙虚な姿勢で自分自身をチエックするべきだと語られました。養育者は、自分の思いや感情の揺れと価値観で子どもの姿をとらえます。研修会に参加するなどして、まずは自分自身を知り、子どもをとらえる視野を広げるための訓練を続けるべきとのことでした。

最後に耳の痛いお話がありました。「福祉とは、支える対象が笑顔で過ごせているかどうか課題であり、それが出来ていなければ支援者に責任がある。あつ思いをもった方が個人で行っていた頃とは違い、公的なチーム養育が行われる現代は、里親はもとより里親の支援者に子どもの笑顔の責任がある」というものです。自分は、鳥取県の里親と里子が笑顔でいること、もしくは笑顔でいられていないことに対して、どれだけ自分ごととしてとらえることが出来ているでしょうか。歴史の見方のひとつに、過去に起こっ

たことは同じような経緯をたどって繰り返し、らせんを描くように発展していくというものがあるそうです。重要な周期には、前の周期の議論や取り組みを振り返る必要があることです。やむにやまれぬ想いから、時には反省しつつ、子どもたちのために力を尽くした先人たちに想いをはせながら、この大事な時代、令和の業務に励みます。

### 事業所内保育施設

## とりっこらんど

### みんなの健康を願って

看護師 小谷 優子

とりっこらんどの一員となり二年目を迎えました。日々、子どもたちが安心・安全に過ごせるように、職員みんなで安全な保育環境を整えています。私は保育所看護師として、体調不良や怪我の対応、健康管理、病後児保育、衛生管理・感染症対策、事故予防・安全確保対策、保育補助の役割を担っています。特に重大事故が発生しやすい場面の危機管理は重要

であり、食事中、水遊び中、睡眠中は事故の発生リスクが高いことを全体で認識し、これらに関する情報については職員間で速やかに検討を行い、改善策を取り入れるように努めています。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の陽性者数が県内でも過去最高を更新し続け、感染拡大予防のため感染対策の向上に努めて対応してきました。「保育施設における新型コロナウイルス感染予防ガイドライン」(鳥取県版)を参考に、様々な対策に取り組みました。県からの保育施設への注意喚起・予防対策の追加指示の文書等に基づき、見直しや改善を重ねて職員一丸となって継続的に実施してきました。

また、県内の保育施設でのクラスター発生が相次いだことにより、新型コロナウイルス感染症の疑いを考えられる症状のお子さんについては、感染拡大に留意した対応が必要になりました。そのため、保護者の方へ通院をお願いと病後児保育利用についても説明させていただき、ご理解ご協力のもと病後児保育を利用して頂きました。保護者の皆様には大変感謝しております。

そして、病後児保育においては病状が少しでも早く回復することを目指し関わっています。病状の安定や回復のためには、状態把握及び経過観察、水分・栄養・休息への支援を適切に行う必要があります。ため、細やかな配慮を心掛けています。病気に起因した不快感や苦痛などに加え、初めて見る人や場所に対し不安で心細いお子さんの心境を受け止めて、安心感や心地よさを抱いてもらえるように丁寧な関わりを積み重ねていきたいと思っています。

とりっこらんどは小規模な保育施設(定員9名)です。保育者が子どもに個別で関わる場面が多く、子どもの個性や発育を深く理解し、受け止め、寄り添った支援が行いやすい環境です。保育者による日々の柔軟な関わりにより、子どもの心の健康も守られているのだと感じています。今後も、1人ひとりの子ども自身の健やかな成長を目標にして支援の向上に努めたいと思います。

### 新任職員の自己紹介



事務員

山崎 妙子

今年度からとりっこらんどに迎えたいいただきありがとうございます。

この出会いに感謝しながら、1日1日を大切に早く仕事を覚えていきたいと思っています。

初めてのことがばかりで日々勉強ですが、子どもたちの元気な声にパワーをもらって頑張ります。



病後児保育室

# 当学園事業へのご寄付 後援会へのご加入に 感謝申し上げます。

前回報告以降、現在まで、ご寄付いただいた方々、  
後援会に賛同（会費納入）していただいた方々は、  
下記のとおりです。  
心より感謝し、ご報告申し上げます。

## 寄 付 者 (R 4.11.15 ~ R 5. 4.28) 敬称略

氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
尾崎 美幸	安本 妙子	半田 卓実	角田デザイン事務所
尾崎 八慧子	八頭更生保護女性会	パルス電工有限公司	代表 角田 治
日本基督教団 鳥取教会	会長 田中 弘江	はやし社会保険	常井 幹生
鳥取鶏卵販売株式会社	盛本 裕子	労務士事務所	綱島 健之
代表取締役 長田 淳	村山 嘉次	林 義雄	廳 和子
鳥取新生教会	村中 良子	林 眞弘	田村 裕子
牧師 山田 忠義	邨上 啓子	濱本 英機	田村 利江
滝河 哲郎、和子	村上 収子	濱本 五十鈴	田村 明長
綱島 健之	村上 悦子	濱田 久美	田村 明子
株式会社竹内クレーン工業	茗荷 京	花木こどもクリニック	田村 愛子
代表取締役 竹内 秀明	南英 語塾	花木 正史	浜田 素子
株式会社 ルートシー	みどり園 保護者	八村 輝夫	田 淵 陽子
岡本 智鶴子	三木 康二	畑山 博史	谷 島 伸二
井口 壬生	眞鍋 裕亮	長谷 賢二	タニグチ・ヘア・サロン
渡邊 健次	松本 勲	橋詰 隼人、一枝	谷 〇 義明
若桜柿坂医院	松永 陽明	端 詰 英俊	谷 〇 尚子
柿坂 紀武	松下 暢子	日本基督教団	谷 〇 香与子
若木 太郎	松浦 静江	鳥取教会 シオン会	谷 〇 勝也
若川 重信	巻田 豊	日本基督教団	田中 耕自
龍福寺	前田医院 前田宏治	倉吉上井教会	田中 和子
リセット 溝口 智子	前田 洋子	日本基督教団 米子教会	田中 修
吉田 由美子	前田 美喜子	日海通信工業(株)	田中 昶
横山 房子	前田 敏春	西山 裕子	伊達 直人
(有)鳥取システムサービス	前田 俊和	西村 照子	田嶋 健一
有限会社ウコン自動車	ホットほっとクラブ	西尾 英樹	武安 泰雄
代表取締役 右近 謙治	古川 潤一	中村 匡子	竹本 芳宏
有限会社 岸田ガラス店	古川 公広	中嶋 哲一	竹本 真理恵
代表取締役 宮本 彰彦	ブライダル 青木	中尾 文裕	タグチレディースクリニック
有限会社 赤山建築設計事務所	青木 美保子	内藤 直人	田 〇 俊章
代表取締役 赤山 善男	藤原 毅芳	鳥山 玲子	高橋 伊佐夫
(有)家電のきのした	藤野 興一	鳥取ライオンズクラブ	田賀 由美子
代表取締役 木下 通徳	フジナワ ミカ	会長 福田 秀章	鈴木 恵美子
山根青果株式会社	藤井 喜臣	鳥取トヨペット株式会社	杉村 英子
山根 茂	藤井 秀樹	鳥取友の会	新矢 檜夫
山根 健太郎	藤井 重明	鳥取市立城北小学校PTA	仁保 統博
山名 祐子	福田 眞彦	鳥取県労働者福祉協議会東部支部	正林 督章
山田 敏明	福田 明彦	鳥取いなばライオンズクラブ	シュルモリ 国岡なつみ
山田 太郎	福寿 みどり	会長 影山 嗣泰	下園 裕一
山口 ひろみ	広谷 笑子	藤内 正樹	柴田 和仁
矢田 さつき	平尾 正人	寺本 美奈代	山陰冷暖設備(株)

氏名		氏名		氏名		氏名	
澤	義幸	川	明子	大	元也	池	真理
澤	末春	河	秀昭	大	谷恭一	幾	裕昭
酒	巻佐代子	亀	良一	大	島義典	生	百合子
齊	藤光寛	神	夏子	榎	直子	雨	一就
齋	藤智子	(株)ミナミコーポレーション 代表取締役 岡本 安量		上	村優子	安	達裕見子
齋	藤禎一	株式会社保健企画 ひまわり薬局		上	島武晴	安	住庸雄
齋	藤明彦	株式会社ニシオ		岩	洲明美	浅	野和子
齋	木一紀	株式会社ニシオ		岩	田美代子	秋	崎るり子
近	藤明	株式会社ニシオ		岩	崎薫	相	見寿子
小屋	本るみ子	株式会社ウィードメディカル 代表取締役 林 誠		医療法人 さとに田園クリニック 理事長 太田 匡彦		TOTORIモデルクラブ鳥取店会 鳥取医療器株式会社 代表取締役 玉木 淳二	
小羊	チャイルドセンター	(株)ヤマネ機材 代表取締役 山根 克仁		医療法人 きむら耳鼻咽喉科医院 理事長 木村 寛		(医)みなみ歯科医院 代表取締役 玉木 淳二	
小羊	教会 代表	株式会社 葡萄家		入	江 順子	石	田 雅栄
市	川 益子	株式会社 トリベイ		井	本 義孝	(医)たなか小児科医院	
小	原 隆三	株式会社 タブチ		井	上 康夫	手	皮 小四郎
小	原 知子	代表取締役 田淵 宏一		井	上 信正	白	井 道子
小	長井 賀與	株式会社 信勝丸漁業 代表取締役 山岡 寛人		井	上 恭子	影	久 眞智
小	竹原 寛	株式会社 三協レンタル		乾	武久、瑞枝	田	中 あかね
小	竹 多喜雄	株式会社 コタニ		伊	藤 文代	吉	田 由喜江
国際	ソロプチミスト鳥取	代表取締役 小谷 憲司		伊	藤 文明	山	中 友子
コ	ール おもかげ	加 藤 由 紀		伊	藤 継俊	入	江 一枝
高	力 房枝	加 藤 和 恵		井	手 添 敦	中	島 素美
光	田 澄子	片 村 俊 子		一般社団法人 日本児童養護施設財団		株式会社 T k n e t 代表取締役 竹内 和樹	
郡	ひろ子	片 倉 夏 実		一 心 館		丸	山 順子
桑	村 達也	尾 崎 俣 子		市 谷 年 弘		赤	山 善男
國	竹 ふみこ	尾 崎 三智子		いしど歯科クリニック 院長 石戸 喜正		河	上 秀昭
沓	野 一誠	尾 崎 信一郎		石	谷 充夫	杉	田 愛子
草	野 雅昭	岡 本 小 児 科 医 院		石	田 信夫	尾	田 一壽
桐	林 正昭	岡 本 賢		石	倉 洋子	鳥取県教職員組合東部支部	
木	本 裕治	岡 田 博 子		石	川 俊浩	原	井 たき代
木	村 陽子	大 西 雅 廣		石	池 喜美代	杣	久美子
木	村 祐子	大 月 和 真		池	田 上 聡一	無	名 氏
木	村 肇	大 塚 福 子					
キ	ま ま ッズ CLUB						
河	妹 宏太						
河	口 欣微子						

物品寄付者

(R 4.11.11 ~ R 5. 4.28)

敬称略

氏名		氏名		氏名		氏名	
吉	田 信仁	袋川をはぐくむ会		鳥取南更生保護女性会		公文式立川五丁目教室 山田 悦子	
山	田 悦子	福田 養蜂場		会長 山田 曠恵		大 樹 寺	
山	口 綾佳	福田 眞		鳥取県中小企業団体中央会		全国シャンメリー協同組合	
柳	田 次郎	フィリップモリス ジャパン合同会社		鳥取鶏卵販売株式会社		セブンイレブン鳥取雲山店	
安	本 芳子	パンドラの箱		鳥取いなばライオンズクラブ		岡 村 政 樹	
門	司 一徹	八口一ズ		徳 田 商店		総合建設 TKR	
宮	ノ下小学校5年生	濱 中 里美		トーヨーショップ丸山		黒 川 竜 次	
松	村 徹	野 田 徹		土 井 倫 子		株式会社 ぎしき	
松	下 暢子	日本鏡餅組合		田 中 光 江		田 中 将 樹	
本	光 寺	内 藤 彰 信		田 中 仲 雄		修 立 小 学 校	

氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
清水由紀子	(株) 美 管 理	井 上 信 正	U F O 叶
信 夫 君 代	(株)竹中工務店 鳥取営業所	井 上 亜 弓	U F O 扇 町
山 陰 中 央 新 報 社	(株)竹中工務店 安全衛生協力会	一般社団法人 生命保険協会 鳥取県協会	U F O 秋 里
坂 田 郁 郁	(株) Daska & Desiree	事務局 長 板 垣 和 男	Tottori Mama's
国際ソロプチミスト鳥取	金 森 興 太 郎	市 谷 年 弘	マイスター代表 白田 仁 氏
河 本 準 一	海 陽 亭 治	市 川 和 也	無 名
窪	遠 藤 治	池 本 夏 樹	
ギデオン協会鳥取支部	エフピコ上田(株)鳥取支店	浅 井 富 美 子	
宮 前 啓 子	上 根 千 恵 子	秋 崎 美 子	
(株) ヤ マ ネ 機 材	岩 淵 明 美	U F O 吉 方	

五十路事務員のしげやき



運営企画室長

山本隆史 記

法人本部の山本です。法人のいわゆる「総務担当」になって、すっかり「ケースワーク」、「ソーシャルワーク」から離れてしまいました。平成八年に入職した当時、まさか自分がこんな立ち位置にいるとは思ってもよらなかったですが（今後の法人の「ケースワーク」、「ソーシャルワーク」については、前号の第五十二号の十一頁で川口医師が述べているとおり、同世代の「熱い、厚い二人の施設長」をはじめ、各施設長・副施設長にお任せするとして、当法人の240名の職員が、それぞれの役割を存分に発揮してもらったためには、とてもとても重要な役割なのだ）と法人事務局職員の働きを見る中で感じていることです。

今回の本題。創立以来キリスト教精神で運営する学園では毎週日曜日の午後七時から夕拝を行っています。これまで藤野理事長が一人で毎週、学園体育館で子どもたちや職員に聖書に関すること、法人のキリスト教精神や理念等に関することを織り交ぜながら話をしていました。現在は、田中常務理事、藤野園長、水野館長と私が加わって5人が週替わりでお話をし、私は毎週司会をしています。新型コロナウイルス感染症が猛威を振るつ中、子どもたちや職員をこれまでのように体育館に集めて行うことはできません。そこで、考えついたのがzoomを利用した「オンラインで夕拝」です。2021年のクリスマス祝会をオンラインで実施した経験から、子どもたちと職員は各ホームでパソコンとテレビをHDMIケーブルで繋ぐことによつて、それなりに大きな画面で視聴できます。

始めた当初私自身も、「やっぱり、集まった方が話し甲斐があるなあ」と思っていたのですが、子どもたちが、それぞれのホームのリビングでくつろぎながら聴くことができる、そしてなによりも本園から離れた地域小規模児童養護施設や自立援助ホームの子どもたちや職員、これまでなかなか参加出来なかった施設・部署の職員にも視聴してもらえらるという大きなメリットがあることもわかりました。そうそう、私がzoomのカメラ背景を夜の学園グラウンドにしているの、子どもたちの中には私がグラウンドに立っ

てzoom配信しているんじゃないかと思っただけの子もいたようです。

5月8日にコロナが五類感染症になりました。今後の夕拝についてどうするか悩むところです。「オンラインで夕拝」で話をすることに慣れてきましたし、前記のような大きなメリットもあるので、今後この形式で行ってもよいのでは？とも考えたり…。ここは、話す側だけでなく、子どもたちの思いも聴き決めることとします。（ごつなつたかは、後日法人facebook等にアップします。）

社会福祉法人鳥取子ども学園のfacebookは以下のQRコードよりご覧いただけます



法人本部よりお知らせ

1. O B 会を開催いたします。

新型コロナウイルス感染症感染防止のため、令和2年度より開催を中止しておりましたOB会を下記の日時・会場で開催いたします。

日時：8月14日(月) 午後6時～  
会場：地域交流ホーム多目的ホール

たくさんの参加をお待ちしています。

2. 鳥取みどり園ホームページリニューアルのお知らせ

幼保連携型認定こども園 鳥取みどり園の日々の様子等を皆様にはわかりやすくご覧いただけるよう、ホームページを独立させリニューアルいたしました。これに伴いホームページのURLが変わりました。

<https://midorien.kodomogakuen.net/>です。

また、新たにInstagram(インスタグラム)でも情報発信しております。

<https://www.instagram.com/tottorimidorien/>是非、こちらもご覧ください。「いいね！」いただけるとありがたいです。



みどり園 HP



みどり園 Instagram



社会福祉法人鳥取こども学園は、ホームページ及びfacebook等のSNSで法人各施設の様子、情報及びお知らせを発信しておりますので、今後も是非ご覧ください。

●従前どおり銀行口座へのご寄付は、下記へお願いします

法人本部：〒680-0061 鳥取市立川町5丁目417番地 鳥取こども学園内  
TEL 0857-22-4206 FAX 0857-23-0242

振込口座：郵便振替 01490-9-9106  
鳥取銀行本店営業部 普通預金 7645611  
山陰合同銀行鳥取営業部 普通預金 3422812

口座名義：社会福祉法人鳥取こども学園 理事長 藤野 興一

※なお、郵便振替は寄付金・後援会費共通口座となっておりますので、寄付金・後援会費のどちらかに〇をしてお入金ください。

●後援会会費は下記へお願いします

振込口座：鳥取銀行本店営業部 普通預金 0405970  
口座名義：鳥取こども学園後援会 会長 村上 亜由美

【お願い】

この「学園だより」は、当法人にご理解、ご協力いただいている皆さまに、施設での出来事、様子等を報告する意味で発行しています。同封しています寄付金・会費の振込み用紙は、あくまでも皆さまの便宜を考慮のことですので、ご理解いただきますようお願い致します。今後とも、当法人を温かく見守って下さいますよう、心よりお願い申し上げます。